

般財団法人の健康医学予防協会新潟健診プラザ新築工事

建設に携わる㈱本間組・古澤所長に取材した。 最先端の検査が受けられる人間ドックや生活習慣病予防検診の施設となる。 ここで建設されている建物は、MRーやマンモグラフィを利用した 今回の現場は東京から新幹線で約二時間、JR新潟駅にほど近い市街地にある。





来客用・職員用含め296台分の駐車場が整備される外構エリアの中を送電線が横切っている。

が車となる新潟では、利用者・職員の数を考え七五%が平置駐車場になる。「ほとんどの移動根付き健診車庫などを完備する。敷地のおよそ

ると広い駐車スペースが必要になります」と古

のひとつ。

に近く、各方面からアクセスしやすいのも利点

駐車スペース二九六台に加えて、屋

車社会という地域性を考慮した駐車場

スセンター・ホテル・業務施設が一体となった た。 に、六つのアーチの美しさで国の重要文が降らない方」。新潟市といえば日本一の大河が降らない方」。新潟市といえば日本一の大河が降らない方」。新潟市といえば日本一の大河が降らない方」。新潟市の年間累積降雪量は一二○

その名残だという。健診プラザは新潟バイパス 所だ。敷地の東南側にある救急外来センター 建設されるなど一大生活圏となった。 整備がされた結果、商業施設やオフィスビ 民病院が建設され、市街化が進んだ。その後、 っていた。 は新潟駅の「駅裏」と呼ばれ、水田や畑が広が はこれらとは反対側の駅南地区にあり、 「朱鷺メッセ」 が有名である。 今回取材する現場 つてあった市民病院の跡地である。今から約 新潟駅に「南口」が設置され、弁天線など街路 ○年前に病院が移転し、 今回の現場「新潟健診プラザ」の敷地は、 やがて新潟バイパスが開通し公営の新潟市 一九六〇年代後半より宅地化が始ま 更地になっていた場 かつて ルも は

新潟市民の新しい健康促進の拠点

オープン予定の「新潟健診プラザ」は、鉄筋コる「プラザ」とはどんな施設なのか。今年春に診を受診するために、一日に約三○○人が訪れ般の健康診断や人間ドック、生活習慣病予防健般の健康診断とは健康診断のことを意味するが、一

送電線付近で作業する前に、 工事関係者で安全対策の共有 を行う(提供:(株)本間組)。





画が終わった段階でMRIの導入が決定された討しなければならない。実際には躯体工事の計I機器自体が大きいため、搬入経路も個別に検

た外部からの磁気が検査室内の磁場に影響を与

えないようにする必要があるため、

オフィスビ

ルなどの壁とは異なり、室内の壁を磁気シール

材で覆うといった工程が増える。加えてMR

から発する磁気が外部に漏れることを防ぎ、 た」。MRI検査室の内装工事では、MRI本体

作業所での規制区域や禁止事項が記されている(提供:(株)本間組)。

工事概要

た最先端の機器が装備される。

MRI検査室の

検査室は磁

乳がんを診断するマンモグラフィといっ

体内を精密に検査できるMRI、

こともあり、

発注者:一般財団法人健康医学予防協会 設計・監理者:株式会社久米設計

施 工 者:本間・植木・中越興業特定共同企業体

期:平成27年3月25日~平成28年2月29日 敷地面積: 13,223.25㎡

建築面積: 2,642.35㎡ 延床面積:5,536.06㎡

造:健診棟 RC造 車庫棟 S造

することが重要となります。

そのため、

建築主、

M R I J

シールド工事業者な

施工には様々な業者が相互の仕事を十分に理解 気の漏洩が起きないよう特別な仕様にするため

数:地上4階

回開催し、

工事の進め方の検討を重ねてきまし

どの関係者が集まる医療機器会議をこれまで五

MRI検査室。磁気が漏洩しないよう、シールド材で覆われている。

機器による精度の高い検査」を目標にしている 査」を導入するなど、 様々な検査を選択し追加できる「オプション検 んど女性スタッフが対応する。 置づけられている。 を実現する健康医学予防協会の新拠点として位 ック・生活習慣病予防健診フロアがある。「最新 る新しい健康促進の拠点を目指し 建物のプランをみてみると、 方だという規模だ。新潟県内初の男女別健診 造四階建て、 女性専用スペースは、 地域の人々の健康に寄与 延べ面積約五、五〇〇 二階には人間ド 他にも個別に している。



2階にある人間ドック・生活習慣病健診エリア。 待合スペースに床暖房を整備する。

鉄塔・送電線が横断する敷地

ら工事を進めました」と古澤所長。

すが、無駄のない計画かどうか、常に考えなが

医療関係者との打ち合わせはもちろんで

工期は決まっているので、

手戻りは許され

機器搬入の工程調整には苦労したという

電線が通っている。 広い敷地内には東西を横断するように高圧送 「敷地内には鉄塔と送電線

39 ACe 建設業界 2016.4



強調した。

外装のプロポー

ションや内部のディテ

ルに



3階カフェテリア内に も、女性専用スペース が確保される。

りをもって仕事を行っている。 は二○年来の付き合いの方も多くいます。信頼 せたときに生きてくる。 そうした積み重ねが、次の現場で再び顔を合わ 持管理、職場の雰囲気づくりにつながっていく 買ってでることが、コスト削減や現場環境の維 を合わせることがよくあります。どんなに難し こで働いている作業員とは、別の現場で再び顔 関係はその現場だけでは終わらない、 らがもっている様々な能力を十分に引き出さな と打ち合わせをしっかり行い、時には世話役も 〜上で最も大事なポイントです」と古澤所長は と現場はまとまりません」と語る。各作業員 つも同じです。 現場でも、 つくる建物が変わっても作業員は 得意な分野でだけでなく、彼 「新潟で働く作業員と 古澤所長は「こ 現場で働

あなたがこの現場で発見したことは何ですか?

こだわる設計者と仕事をすることも多く、三〇

上の施工図を書いて作り上げた経験もあるとい

「素晴らしい建物をつくり

上げるためには、

一〇〇枚以

1,000人近い作業員がこの現場 には関わっています。所長とし て現場を運営するためには、それなり の秩序や上下関係も必要な要素となっ てきます。しかし、私自身も一人の作 業員として、担当工種、担当エリアを 持っており、現場で直接指示をしてい ます。それは、現場は全員が参加して つくり上げていくものだと考えている からです。

新潟で働く作業員は、みな律儀です。 現場で起こる様々な問題を共に解決し ていくことで、より良い仕事、高い品 質の工事を遂行してくれると思ってい ます。次の現場でも一緒に働く同士だ からこそ叱咤することもありますが、 精度良く仕上がったときには、喜びを 分かち合うことで「波紋」のように幾 重にも良い影響が現場へ広がるよう、 日々心がけています。



株式会社本間組 担当課長

古澤 聡

Satoshi Furusawa



ファサードに並ぶ列柱一部はコの字型のコンクリート壁で、ダクトスペースとしても活用している。

着をもって、

地域に根ざした建設会社として誇

が駐車場となっているため、 て組み立てることも行われた。 解体・敷地外に搬出し、 機が送電線下を通れないため、 長が説明してくれた。送電線の直下では、 運搬中の資材が規制区域を超えないように、 があるため、 重などが禁止されている。杭工事の時は、杭打 クホウ等の重機作業やユニック等による資材揚 五㍍を超えると放電の危険が生じるため、 ザー警報装置が設置されていることも古澤所 います」。 資材や工事車両が送電線に絡まないよ 規制区域を定めて、 現場にはク 改めて敷地内に搬入し 一見するとわから レーンのブー 敷地のほとんど いったん機材を 安全周知を徹 高さ ムや ッ



3階のリラックスルームに、床暖房の機能もある。



階段の手すりはこだわりをもったデザイン が施されており、それを忠実に施工している。

業員のみなさんは凍てつく寒さに耐え、黙々と 底されていた。 冬の寒い時期でも作業できる忍耐力が備わって は、新潟県内の現場を中心に施工しているため 作業に従事していた。㈱本間組本社の協力会社 比べものにならない寒さだった。それでも、 当日は、雪が降り、海風と相まって、 の半数は新潟県内に設けられている。 国に支店を構え事業を展開しているが、 新潟市に本社を置き、 いるとのこと。 今回の現場を施工する㈱本間組は、 株本間組同様、 創業八十年を超える。 東京とは 取材した 創業以来 営業所

地域に根ざす意味

周知会議を実施するなど送電線災害の防止が徹 作成や送電線付近で作業をする場合は作業前に うに施工計画を立案し、安全作業マニュアルの

姿勢こそが、

古澤所長の真骨頂であり、

(株)本間

組とそして新潟という地域の活況を支えている。

感や楽しさになっていきます」。

雪国ならでは

根気強く最後までやり通そうとする

の持つ魅力につながり、携わった私たちの達成 です。そうした完成までの努力が建物そのもの お互い納得するまでとことん議論するのが重要